

どんな手順？何をすべきか？ぜんぶ解説！

母体の急変対応 up to date

プランナー：山下智幸 日本赤十字社医療センター 救命救急センター・救急科 副部長
馬目裕子 同 看護部 看護副部長／周産母子・小児センター 副センター長

特集

本特集は、近年の周産期医療を取り巻く状況の変化に対応し、助産師が現場で遭遇する重大な母体急変に対して、より実践的で再現性の高い知識を身につけることを目的としています。読者は初期徴候の捉え方や緊急時の判断に不安を抱える層を想定しています。“早期発見・早期介入”を可能にする助産師育成のため、医師の視点から実践的な学びとなる内容です。

◆総論

1 母体急変の覚知・急変対応時のABC 廣嶋 俊 日本赤十字社医療センター

◆事例で学ぶ

- 2 局所麻酔薬中毒・高位脊髄くも膜下麻酔 細川幸希 昭和医科大学
3 常位胎盤早期剝離 有馬香織 日本赤十字社医療センター
4 子宮破裂 古谷毅一郎 りんくう総合医療センター
5 HELLP症候群 富田美弥 東北大学
6 弛緩出血と産道裂傷 石井千晶 日本赤十字社医療センター
7 出血性ショックと凝固障害 乃美 証 日本赤十字社医療センター
8 帝王切開術後の合併症(縫合不全) 井上真紀 前橋赤十字病院
9 産道の血腫 細川さつき 日本赤十字社医療センター
10 羊水塞栓症 吉田由惟 埼玉医科大学総合医療センター
11 肺血栓塞栓症 菊地範彦 長野赤十字病院
12 心不全 神谷千津子 国立循環器病研究センター

連載

・飛ぶ無痛Cafeがお届け！
もっと知りたい！無痛分娩のリアル

執筆：田辺けい子(神奈川県立保健福祉大学大学院)
野口翔平(埼玉医科大学総合医療センター)
日向俊輔(北里大学病院)

・学ぶ・動く・存在価値を高める！
アドバンス助産師 活躍・活用report

企画協力：一般財団法人 日本助産評価機構 助産師キャリアの転換点 執筆：岸畑聖月・宗内優美香
執筆：木村泰恵(やすらぎの森 木村助産院) ~変化の“そのとき”とこれから (株式会社With Midwife)

読者ターゲット

20代から60代の助産師、看護師、保健師、産婦人科医
女性に寄り添うケアを追究する医師・助産師ら周産期スタッフが協働するための最新の
知識が満載。周産期に用いるさまざまな物品のアピールが期待できます。

ADポイント

広告締切

申込締切日：2026.7.1 版下出版社必着：4C 2026.7.1 1C 2026.7.14 綴込 2026.7.17

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257×182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチノロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

● 広告原稿は完全データをお願いします。 ※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

● 企画内容が変更になる場合があります。

(株)メディカ出版 総広告代理店

株式会社 メディカ・アド

〒105-0013

東京都港区浜松町1-12-9 第一長谷川ビル2F

TEL:03-5776-1853 FAX:03-5776-1854

担当:営業部